

令和8年4月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は2,001億円（対前年同月比9.7%の増加、比率ベース：7ヵ月連続の増加）、輸入総額は1,346億円（同18.2%の増加、2ヵ月ぶりの増加）であった。差引額は656億円（同4.5%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「科学光学機器」、「原動機」などは減少したものの、「写真用・映画用材料」、「自動車の部分品」、「金属製品」などが増加した。

輸入は「がん具及び遊戯用具」、「金属鋳及びくず」などは減少したものの、「魚介類及び同調製品」、「大豆」、「無機化合物」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」、「EU」、「アメリカ」が増加した。輸入は「アジア」、「アメリカ」が増加、「EU」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	2,001億円	+9.7%	1,346億円	+18.2%	656億円	▲4.5%
	7ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸 出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	73億円	+58.7%	輸 入	増加品目	(1) 魚介類及び同調製品	257億円	+20.1%
		(2) 自動車の部分品	172億円	+15.3%			(2) 大豆	24億円	5.9倍
		(3) 金属製品	42億円	+42.9%			(3) 無機化合物	23億円	5.7倍
	減少品目	(1) 科学光学機器	79億円	▲30.7%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	16億円	▲42.3%
		(2) 原動機	224億円	▲5.6%			(2) 金属鋳及びくず	7億円	▲34.5%
		(3) 加熱用・冷却用機器	39億円	▲19.6%			(3) 飼料	11億円	▲20.7%
主要地域増減	アジア、EU、アメリカが増加			主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				

（参考）ドルレートは、159.27円（前年同月比7.8%、11.57円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	▲9.0%	14億円	▲37.2%	▲5億円	▲59.0%
	2ヵ月ぶりの減少		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	5億円	+57.1%	輸入	増加品目	(1) 魚介類及び同調製品	2億円	4.8倍
		(2) プラスチック	24百万円	7.8倍			(2) 有機化合物	5億円	+12.7%
		(3) ポンプ及び遠心分離機	25百万円	5.5倍			(3) パルプ	1億円	+41.5%
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	1億円	▲46.4%		減少品目	(1) とうもろこし	5億円	▲63.4%
		(2) 精油・香料及び化粧品類	57百万円	▲44.6%			(2) 加熱用・冷却用機器	—	全減
		(3) 糖類及び同調製品・はちみつ	27百万円	▲41.3%			(3) 非金属鉱物製品	7百万円	▲16.8%
主要地域増減	アジアが減少、EU、アメリカは増加			主要地域増減	アメリカが減少、アジア、EUは増加				

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	498億円	+28.3%	97億円	2.0倍	402億円	+17.8%
	8ヵ月連続の増加		17ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	224億円	+20.4%	輸入	増加品目	(1) 自動車	33億円	+77.6%
		(2) 自動車の部分品	106億円	+48.5%			(2) 鉄鋼	11億円	+44.3%
		(3) 無機化合物	27億円	2.4倍			(3) プラスチック	73百万円	6.1倍
	減少品目	(1) 原動機	10億円	▲14.5%		減少品目	(1) 木材及びコルク	8億円	▲38.9%
		(2) 電池	1億円	▲40.1%			(2) 木製建具及び建築用木工品	71百万円	▲52.5%
		(3) 重電機器	16百万円	▲80.3%			(3) お茶	—	全減
主要地域増減	アジア、EU、アメリカが増加			主要地域増減	アジア、EUが増加				

4. 静岡空港

輸出入実績なし